

### 桃源郷通行許可証

**とき**・10/22(土)～1/29(日)  
 ※ 会期中一部作品の展示替えがあります。  
 前期:12/4(日)まで/後期:12/6(火)から  
**ところ**・2階展示室  
**内容**・絵画、写真、ドローイング、インスタレーションなど、それぞれの手法を用いて、日常や現実のはざまに潜在する事象を繊細に掬い取る6名の作家の作品と、当館のコレクションとが出会うことで生まれる空間を中心に、多様な時代、ジャンルの作品とコレクションとの遭遇を通じて、時空を超えた芸術作品の魅力を探ります。作家や作品同士の対比、テーマによる対照、意外な組み合わせなど、様々な角度から構成される本展覧会は、コレクションに新たな光を当てるとともに、幅広い世代の作家たちの現在地にも立ち会う機会となるでしょう。  
**観覧料**・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)  
 ※ ( )内は20名以上の団体料金  
 ※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料  
 ※ 併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》  
**〇ミュージアム・カレッジ2022**  
**「トランジットー新たな敷居学の提案」**  
 埼玉大学教養学部と共催で開催する公開講座です。  
**①とき**・12/3(土)15:00～16:30(14:30開場)  
**内容**・歌舞伎と女一初代中村仲蔵の母おしゅんの業績  
**講師**・トーヴェ・ビュルク(埼玉大学大学院人文科学研究科教授)  
**②とき**・12/10(土)15:00～16:30(14:30開場)  
**内容**・老荘思想の基本問題ー政治思想を中心に  
**講師**・西山尚志(埼玉大学大学院人文科学研究科准教授)  
**③とき**・12/18(日)15:00～16:30(14:30開場)  
**内容**・境界を生きる現代アメリカのアーミッシュ  
**講師**・野村奈央(埼玉大学大学院人文科学研究科准教授)  
**ところ**・2階講堂/定員・各回60名(当日先着順)/費用・無料  
**お問い合わせ**・埼玉大学総務部広報渉外課「ミュージアム・カレッジ担当」Tel.048-858-9213

**〇アーティスト・トーク**  
**①文谷有佳里(出品作家)×筒井宏樹(現代美術研究者)**  
**とき**・12/4(日)15:30～17:00(15:10開場)  
**②東恩納裕一(出品作家)×藤原えりみ(美術ジャーナリスト)**  
**とき**・12/11(日)15:00～16:30(14:30開場)  
**③佐野陽一(出品作家)×管啓次郎(詩人/明治大学教授)**  
**とき**・1/7(土)15:00～16:30(14:30開場)  
**④稲垣美侑(出品作家)×井上尚子(美術作家)×青田麻未(美学研究者)**  
**とき**・1/22(日)15:00～16:30(14:30開場)  
**ところ**・2階講堂/定員・各回60名(当日先着順)/費用・無料

**〇文谷有佳里(出品作家)ワークショップ「みえないドローイング」**  
**とき**・12/4(日)13:00～15:00(時間内随時受付。混雑時にはお待ちいただく場合があります。)  
**ところ**・2階講堂/対象・どなたでも/所要時間・約3分  
**費用**・無料/内容・はがきサイズの小さな紙の上から、カーボン紙を擦っているような線を描きます。どのような絵になるかは、最後にカーボン紙をめくってのお楽しみです。

**〇松井智恵(出品作家)映像作品上映会**  
**とき**・1/14(土)・1/15(日)  
**ところ**・2階講堂/定員・各日60名(入退場自由)/費用・無料  
**内容**・松井智恵が2000年代から制作・発表している映像作品を一挙上映します。  
 ※上映会の間の時間または終映後、以下のゲストを招いたアーティスト・トークを実施します。  
**1/14(土)** 松井智恵×橋本梓(国立国際美術館主任研究員)、松井智恵×高橋信也(京都市京セラ美術館事業企画推進室ゼネラルマネージャー)  
**1/15(日)** 松井智恵×建島哲(当館館長)  
 ※アーティスト・トークの時間およびプログラムの詳細は、決定次第ホームページ等に掲載します。



左:稲垣美侑《The Noisy Garden》2020年 作家蔵  
 右:愛田春草《湖上釣舟》1900年 埼玉県立近代美術館蔵(後期展示)

※ 本紙記載の展覧会やイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

## MOMASコレクション(収藏品展)

**2022年度 第3期**  
**とき**・12/3(土)～2/26(日)  
**ところ**・1階展示室  
**観覧料**・一般200円(120円)、大高生100円(60円)  
 ※ ( )内は20名以上の団体料金  
 ※ 中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料  
**◇セレクション**  
 シャガールほか、MOMASコレクションの名品を展示します。  
**◇まるく/まわる**  
 円や球体をモチーフにした作品や、回転する作品が集まります。作品の引力に身をゆだねて、めくるめく幾何学の世界をお楽しみください。  
**《関連イベント》**  
**〇サンデー・トーク**  
 12・1月の実施は未定です。実施する場合は、HP等でお知らせします。

## アート体感ワークショップ MOMASのとびら

全プログラム事前予約制です。  
 当館ホームページからお申込みください。  
**《1月のプログラム》**  
**1月分のお申込みを12/1(木)から受け付けます。**  
**〇フリープログラム**  
**とき**・1/14(土) 13:30～15:00  
**対象**・どなたでも  
**費用**・無料  
 ※ いくつかのプログラムを人数制限しながら数回ずつ実施する予定です。  
**〇工房**  
**とき**・1/21(土)、1/28(土) 各日13:30～15:00  
**対象**・小学生～大人  
**費用**・500円  
**《2月のプログラム》**  
**2月分のお申込みを1/5(木)から受け付けます。**  
**〇親子クルーズ**  
**とき**・2/4(土)、2/11(土) 各日13:30～15:00  
**対象**・小・中学生+保護者  
**費用**・500円  
 ※ 開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。  
 ※ 「親子クルーズ」は、MOMASコレクションまたは企画展のどちらかに関連した活動を行います。  
 ※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ  
<https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら>



## 一般展示室(地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。  
 ※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。  
**◆12/6(火)～12/11(日)**  
 旅の記憶(野口泰久展)……………一般展示室4  
**◆12/7(水)～12/11(日)**  
 埼玉県障害者アート企画展……………一般展示室1・2  
**◆12/13(火)～12/18(日)**  
 第56回全日本書道芸術展……………一般展示室1・2  
 T O T E M(北直人展)……………一般展示室3  
**◆12/24(土)・12/25(日)**  
 郷土を描く児童生徒美術展……………一般展示室1～4  
**◆1/10(火)～1/15(日)**  
 第25回記念凧の会展……………一般展示室1～4  
**◆1/24(火)～1/29(日)**  
 文教大学美術専修卒業制作展……………一般展示室1  
 文教大学美術専修OB・OG展……………一般展示室4  
**◆1/31(火)～2/5(日)**  
 埼玉国展……………一般展示室1  
 第41回野美展……………一般展示室2

## コレクションノート

ジョルジュ・ルオー《横向きのピエロ》1925年頃

今回は、ジョルジュ・ルオー(1871-1958)の《横向きのピエロ》をご紹介します。まずは作品をご覧ください。サーカスのステージ上で観客を魅了する華やかな道化師の姿はありません。激しいタッチで描かれているのは、重く暗い雰囲気のなか、静かに目を閉じる道化師の横顔です。ルオーは、こうした道化師や娼婦といった近代社会の下層を生きる人々に目を向け、作品のモチーフとしてしばしば取り上げました。なかでも道化師を描いたものは数多く、「道化師の画家」とも呼ばれています。ではなぜ、彼は道化師に惹きつけられたのでしょうか。  
 貧しい家庭で生まれ育ったルオーにとって、幼い頃の1番の楽しみが旅回りの安いサーカスだったといえます。19世紀後半、パリではキャバレーやダンスホール、サーカスなど、大衆向けの興業産業が盛り上がりを見せていました。その記憶が彼の制作に多大な影響を与えたことに違いはないでしょう。しかしもうひとつ、決定的ともいえる出来事があったのです。ある晴れた日の夕暮れ、ルオーは古びた馬車の端に座りこむ、年老いた道化師の姿を目撃します。煌びやかな衣装に反して、道化師の「底知れぬほど悲惨な」様子を感じ取ったルオーは、その「激しいギャップ」に強く心を揺さぶられ、そこに人間の本質を見出したのです。それは、ときに苦しみながら芸術家として生きる自分自身に重なるものでもありました。実際、道化師の格好をした自画像をルオーは制作しています。  
 ところで、ルオーは宗教的なモチーフを生涯描き続けたことでも知られる画家です。「宗教」と「道化師」は「聖」と「俗」に分けられるものであり、一見正反対のテーマのように思えます。しかし、低賃金で苦しい生活を強いられる一方で、ステージ上では華やかな衣装でパフォーマンスを繰り広げ、常に観客を笑わせ続ける――その光と影の「両極の間を激しく揺れ動きながら生き抜く道化師は、ルオーにとって一種の崇高な存在であったに違いないのです。  
 「道化師」というテーマは、現代でも多くの作家が取り上げられています。例えばブルース・ナウマンは、虐げられ怯える道化師の映像が繰り返されるインスタレーション作品を発表しています。また、シンディ・シャーマンは、「扮装」を表現手法とする芸術家としての自分自身を道化師に重ね合わせているかのような写真作品を制作しています。このことから、道化師が時代を超えて現代のラディカルな作家にも示唆を与えるものであることが窺い知れるのです。ルオーが見出したように、やはり道化師とは、人間の本質的な部分を多様に映し出し、様々な感情を喚起する存在なのでしょう。(S.Ayu.)  
 執筆にあたっては、以下の文献を参照しました。  
 『ジョルジュ・ルオー サーカス 道化師』パナソニック汐留ミュージアム、2012年



ジョルジュ・ルオー 《横向きのピエロ》1925年頃

## ミュージアム・ショップおすすめ商品

令和5年の干支、うさぎのアクリルブローチと手鏡をご紹介します。ブローチは繊細で温かみのある切り絵とアクリルを合わせることによって、今までとはまた違う新しい表情を見せてくれます。手鏡もアクリル製なので、軽くて割れにくいため持ち運びに便利。  
 その他にもうさぎ柄の商品を多数取り揃えてお待ちしております。



手鏡(右)  
 ¥1,540円(税込)  
 アクリル樹脂 約45mm×85mm  
 ブローチ(左)  
 ¥990円(税込)  
 アクリル樹脂 約65mm×60mm

## 編集後記

「桃源郷通行許可証」の関連イベントが目白押しです。桃源郷へ迎い着くためのヒントを探しに、ぜひご参加ください。(S.Aya.)  
 MOMASコレクション(収藏品展)は、年4回に分けて展示を行っています。A面で紹介した「まるく/まわる」のように、毎回面白い視点で収藏品を紹介していますので、ぜひ何度もお越しください。(M.H.)

